

北小だより

～えのきごころ～

高崎市立北小学校学校通信

2011(H23). 12. 16. 金

No. 91

文責：山崎 貞幸

えのきのように やさしく 強く やりぬく子

もういくつ寝るとお正月？

- ☆ 今晚を数えてあと16日寝ると「お正月」、新年が迎えられます。したがって、「冬休み」までは7日、丁度1週間後に「天皇誕生日」(23日<金>)です。そして、「クリスマスイブ」(24日<土>)「クリスマス」(25日<日>)と、無邪気な子どもにとってはお楽しみがあっという間ですね。日本の平和？を感じますが、今年は違った意味で考えさせられることになりました。
- ☆ その昔、「お正月」には、凧揚げやコマを回して遊びました。凧揚げの凧は和風の凧でして、奴凧とか、文字を描いたものとかでしたが、その後は、西洋凧(ゲイラカイト)も流行りました。冬のお正月の風物詩として、広い野原で揚げたものでした。コマ回しは普通のやり方のコマ回しとベーゴマ(貝独楽)といって、ぶりかり合うのを楽しみとして、他人のベー独楽を弾き飛ばすものです。激しさと面白さがありました。幼な子が着物を着て羽根つきをしたり、家の中では福笑いや双六などに興じたり、ゲームや様々な遊びもやりました。

☆ 今や戸外では何をして遊ぶのでしょうか？ 広い野原が少なくなり、凧を揚げるにも電柱に注意が必要です。危険な遊び(ピストルでビービー弾の打ち合いだけがをさせたり、子ども同士でゲームセンターへ行って高額なお金を使ったりしてはいけません。)にはまり、本来の子どもの健全育成が壊れないように大人が配慮していかなくてはなりませんね。禁止命令の措置ではなく、なぜ危険な遊びに走るのか？ 多額な金銭を使うようなゲームにはまるのかを検証する必要があるわけです。特に、冬休みには「お年玉」等の臨時収入が考えられますので、子どもと共に、ご家庭での金銭教育や計画的で有効な使い途を考えてほしいと思います。

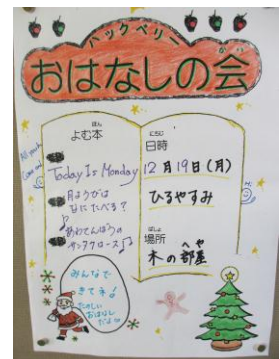
「読み聞かせ」ありがとうございます！

12/15/木：朝の読み聞かせではボランティア「ハックベリー」の方々に変なお世話になっています。低学年の子どもたちが目を輝かせ聞いています。



「おはなしの会」ご案内

12/19/月



特集:「人権標語」＝学級代表スローガンの発表

- 「あそぼうよ。」そのしゅんかんに ともだちだ。
- なかなおり「ごめんね。」「いいよ。」いえるといいな。
- たのしいね みんなとあそべば えがおがあふれる
- うれしいな ともだちいっぱい あそぼうよ
- 手をつなごう 世界にひろがる みんなのえがお
- やさしい気持ちが笑顔をつくる みんなの笑顔が幸せをつくる

- 声をかければ みんな友だち
- 「こんにちは」と 心どうして あく手をしよう
- 思いやり とてもたいせつ いつまでも

- 大事にしよう 親からもらった その命
- 幸せは 一人ひとりの 笑顔から
- 「仲間に入れて」受け入れよう 相手の気持ちとその言葉
- ぼくたちは みんなもってる 生きる意味

学校・家庭・地域で人権教育の実践を！

☆先週から今週にかけて、学校では人権教育の推進強化を図ってきました。具体的には、人権講話、人権に関するビデオ視聴、人権スローガンの作成等、児童に「人権」の本当の意味を理解してもらうために先生方が指導してきました。☆事前には、「人権カレンダー」を作成し、各学級だけでなく、教育関係機関にも配布いたしました。「人権尊重都市」宣言の高崎市の基本的な役目が小学校にもあります。☆どこにおいても「いじめ」や「虐待」のない思いやりのあふれた社会にしたいものです。